

第 13 回議会報告会 報告書

地域名	小佐地域		
年月日	平成 27 年 10 月 21 日 (水)	会場名	中村コミュニティセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 08 分
参加数	男性 16 人	女性 1 人	合計 17 人
班 長	深澤 巧	司会者	深澤 巧
報告者	竹浦昭男	書記	西村禮治
班員名	深澤 巧、西村禮治、竹浦昭男、水野雅広		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①旧貯木場跡地を子育て世帯の若者に優先販売するが、入札の審査は誰がするのか。</p> <p>②八鹿病院の医師の補充はできたが赤字だ。豊岡に行けという現実は改善されるのか。</p> <p>③人口 3 万人構想があったが減少は続いている。</p> <p>④農業特区で人口は増えるのか。</p>	<p>①プロポーザルで提案してもらい、外部も含めた選定委員会で行う。若者定住の趣旨が守れるかなど指摘し附帯意見を付けた。進捗もチェックする。</p> <p>②公会計制度に変わって増えたが、従来方式なら前年並みの 6 億円台。医師不足が最大要因で、医師確保以外にも奨学金制度で 19 名の医学生を確保した将来への取り組みもある。患者からの苦情等を聞く意見箱を設置し、回答をホームページにも掲載するなど、評価している。豊岡病院も医師不足で、救急転送患者を全て受け入れてはいない。</p> <p>③平成 32 年までに 200 人増を目指す計画が提案される。特区で農業生産法人が来る場合、歓迎か警戒するかでも違ってくる。小佐地区がどう取り組まれるのか一緒に考えたい。</p> <p>④特区一本では無理である。企業誘致も機械化が進んで 10 人程度の雇用しか期待できない。50 年後の 2 万人という高めの目標に向かうことで人口を維持する。ふるさと教育の効果がある。ネットで市の情報は伝わり、20 代の Uターン者が増えている。仕事も自分たちで探しているようだ。地元の同級生からの呼びかけがきっかけになっている。</p>	
(提言など) その他	①八鹿幼稚園の跡地利用について、どう考えられているのか。	①屋岡神社の土地であり、天子区が公民館としての活用を要望されている。	

備考
なし

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 27 年 11 月 10 日

報告者 3 班 班長 深澤 巧

